



ザリガニ釣り

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- ・自然の生き物に触れあう楽しさを味わうことができます。
- ・生き物を愛護する心を養うことができます。

【教科への対応】 小学校：生活、理科、総合など 中学校：理科、総合など

【組合せ可能な活動プログラム】 虫取り遊び、ぼんじゅモルック、梵珠ディスクゴルフなど

2 活動の概要

はじめに、梅枝とたこ糸を使ってザリガニ釣り用の釣り竿を作ります。その後、池に行き、エサ（スルメなど）を結びつけてザリガニ釣りをします。釣ったザリガニはバケツに入れ、様子を観察することができます。最後にザリガニを池に放してやります。

(1) 人数 40人以内

※一度に実施できるのは20人程度のため、他のプログラムと組み合わせで実施することが望ましい。

(2) 対象 制限なし

(3) 期間 6月下旬～8月下旬

(4) 時間 1～1.5 時間

（説明・準備 20 分＋活動 40～70 分）

(5) 場所 キャンプ場池

※雨天時は体育館横のテント下でも実施可能

(6) 経費 無料



＜ザリガニ釣りの様子＞

3 準備物

団 体	救急薬品、エサ（スルメなど）
個 人	汗ふきタオル、帽子、軍手、運動しやすい服装
自然の家	梅枝、たこ糸、バケツ、剪定ばさみ はさみ、スズメバチ用殺虫剤



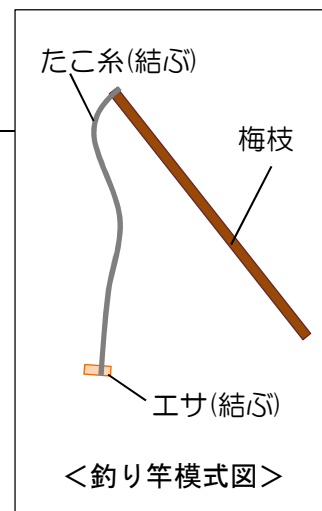
＜体育館横テント下でのザリガニ釣りの様子＞

4 引率者の役割分担

役割名	内 容
代表責任者	1 名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。安全に活動できるよう支援する。 ※エサの取り付け方や釣り方のコツなどについても支援する。

5 活動の流れ

	内 容
説 明 準 備	・釣り方や観察の仕方などについて説明 ・活動の準備として「釣り竿」作りを行う。 ※取り付けるエサは団体側で準備する。
活 動	・池に移動し、釣り竿にエサを結びつけて釣る。 ※一度に実施できるのは30人程度。 ※他のプログラムと組み合わせた場合、30分程度で交代しながら実施する。 ・釣れたらバケツに入れて観察する。 ※基本的に、1匹につき1バケツに入れて観察する。 ※釣れない子どもがいたら、班で観察するなど、約束事を決めておく。 ・観察し終わったらザリガニを放流する。 ※放流することを原則とする。 ※どうしても持ち帰りたい場合は、あらかじめ自然の家職員へ相談する。
まとめ	・ふりかえり、用具の返却とあとかたづけ ※梅枝は再利用できるため返却、その他はごみとして処分する。



6 実施上の留意点

- ・雨天、荒天時は、場所を代えて実施（体育館横テント下など）するか、代替プログラムを実施するか、あらかじめ決めておく（事前研で自然の家職員と相談して決める。）
- ・人数に応じて、他のプログラムと組み合わせて実施するかどうか、あらかじめ決めておく。
- ・天候等によってザリガニが釣れにくい場合があります。

7 安全に実施するためのポイント

- ・ザリガニをつかむ時、はさまれてのケガを軽減するため、軍手を必ず着用させる。
- ・熱中症対策のため、帽子は必ず着用させ、こまめな水分補給をさせる。
- ・あやまって池に落ちる子どももいるため、可能であれば長靴を履かせたり、替えの靴下等を準備する。
- ・釣り竿作りで刃物を扱うときは、刃の前に指や手を置かないように十分気をつけさせる。



【改定ポイント】
より主体的な活動となる
よう、活動人数と時間を見直した。

8 エリア地図

- ・右図参照